

令和9年4月受講開始

看護師特定行為研修 募集要項

【新規受講者・院外職員区分拡大】



地方独立行政法人

静岡市立静岡病院

SHIZUOKA CITY SHIZUOKA HOSPITAL

1 研修の概要

(1) 看護師の特定行為研修制度について

医療の現場で、看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力、並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図ることを目的に研修制度が創設されました。

(2) 当院の研修について

高度先進医療や地域医療の現場において、特定行為を行う看護師としての責任と役割を自覚し、臨床実践能力を修得するための研修です。当院で受講できる特定行為区分及び領域別パッケージ研修は次のとおりです。ただし、定員数には、新規枠および区分拡大枠の人数が含まれています。

特定行為区分	特定行為名	定員
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	・ 経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブの位置の調整	1
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱	1
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	・ 中心静脈カテーテルの抜去	1
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	・ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	4
創傷管理関連	・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法	1
動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	2
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連*新規区分受講者必須	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正	2
感染に係る薬剤投与関連	・ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	2
術後疼痛管理関連	・ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	1
循環動態に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・ 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	1

※周術期麻酔管理領域又は集中治療領域以外の特定行為区分を受講する場合には、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連を同時に受講すること。

※行為区分の同時受講について、特定行為数がパッケージを超えないことを条件とする。

領域別パッケージ研修		特定行為名	定員
■	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	3
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱	
	動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連区分	・脱水症状に対する輸液による補正	
	術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
	循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
■	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	3
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱	
	循環器関連	・一時的ペースメーカーの操作及び管理	
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去	
	動脈血液ガス分析関連	・橈骨動脈ラインの確保	
	循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	

特定行為区分、領域別パッケージ研修合わせて 11 名

(3)研修期間 **令和9年4月1日 ～ 令和10年3月31日（12 か月間）**

(4)研修内容

全ての特定行為区分に共通する「共通科目」と、区分ごとに異なる「区分別科目」又は「領域別パッケージ研修」があります。「共通科目」修了後、「区分別科目」又は「領域別パッケージ研修」を履修します。講義は、学習教材として S-QUE 研究会®全日病 S-QUEe ラーニングを使用します。また、特定行為研修修了者は区分拡大を行うことが可能です。

【共通科目】（※試験時間を含む）

履修科目	研 修 時 間(単位:時間)				
	講 義	演 習	実 習	試 験	合 計
臨床病態生理学	27	2		1	30
臨床推論	35	8	1	1	45
フィジカルアセスメント	39	3	2	1	45
臨床薬理学	35	9		1	45
疾病・臨床病態概論	34	4		2	40
医療安全学／特定行為実践	22	13	9	1	45
合 計	192	39	12	7	250

【区分別科目】

呼吸器（気道確保に係るもの）関連

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連の基礎知識	4			4
経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5		5症例以上	5
合 計	9		5症例以上	9

呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	5			
侵襲的陽圧換気の設定の変更	4	2	5症例以上	6
非侵襲的陽圧換気の設定の変更	4	2	5症例以上	6
人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	4	2	5症例以上	6
人工呼吸器からの離脱	4	2	5症例以上	6
合 計	21	8	20 症例以上	29

栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連の基礎知識	3			3
中心静脈カテーテルの抜去	4		5症例以上	4
合 計	7		5症例以上	7

栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連

履修科目	研 修 時 間 (単位：時間)			
	講 義	演 習	実 習	合 計
末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理の基礎知識	3			3
末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	5		5症例以上	5
合 計	8		5症例以上	8

創傷管理関連 <※実習前にOSCE（実技試験）あり>（試験時間を除く。）

履修科目	研 修 時 間 (単位：時間)			
	講 義	演 習	実 習	合 計
創傷管理関連の基礎知識	12			12
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	14		5症例以上	14
創傷に対する陰圧閉鎖療法	8		5症例以上	8
合 計	34			34

動脈血液ガス分析関連

履修科目	研 修 時 間 (単位：時間)			
	講 義	演 習	実 習	合 計
動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5			5
直接動脈穿刺法による採血	4		5症例以上	4
橈骨動脈ラインの確保	4		5症例以上	4
合 計	13		10	13

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連<※実習前にOSCE（実技試験）あり>（試験時間を除く。）

履修科目	研 修 時 間 (単位：時間)			
	講 義	演 習	実 習	合 計
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	6			6
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	4	1	5症例以上	5
脱水症状に対する輸液による補正	4	1	5症例以上	5
合 計	14	2		16

感染に係る薬剤投与関連<※実習前にOSCE（実技試験）あり>（試験時間を除く。）

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
感染に係る薬剤投与関連の基礎知識	15			15
感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	10	4	5症例以上	14
合 計	25	4		29

術後疼痛管理関連

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
術後疼痛管理関連の基礎知識	4			4
硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	3	1	5症例以上	4
合 計	7	1	5症例以上	8

循環動態に係る薬剤投与関連

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	8			8
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	3	1	5症例以上	4
持続点滴中のトリウム、カリウム又はナトリウムの投与量の調整	3	1	5症例以上	4
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	3	1	5症例以上	4
持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	3	1	5症例以上	4
持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	3	1	5症例以上	4
合 計	23	5	25 症例以上	28

周術期麻酔管理領域（領域別パッケージ研修）＜※実習前に一部OSCE（実技試験）あり＞（試験時間を除く。）

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連の基礎知識	4			4
経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5		5症例以上	5
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	5			5
侵襲的陽圧換気の設定の変更	4	2	5症例以上	6
人工呼吸器からの離脱	4	2	5症例以上	6
動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5			5
直接動脈穿刺法による採血	4		5症例以上	4
橈骨動脈ラインの確保	4		5症例以上	4
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	6			6
脱水症状に対する輸液による補正	4	1	5症例以上	5
術後疼痛管理関連の基礎知識	4			4
硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	3	1	5症例以上	4
循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	8			8
持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	3	1	5症例以上	4
合 計	63	7	40 症例以上	70

集中治療領域（領域別パッケージ研修）＜※実習前に一部OSCE（実技試験）あり＞（試験時間を除く。）

履修科目	研 修 時 間（単位：時間）			
	講 義	演 習	実 習	合 計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連の基礎知識	4			4
経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5		5症例以上	5
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	5			5
侵襲的陽圧換気の設定の変更	4	2	5症例以上	6
人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	4	2	5症例以上	6
人工呼吸器からの離脱	4	2	5症例以上	6
循環器関連の基礎知識	4			4
一時的ペースメーカーの操作及び管理	3	1	5症例以上	4
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連の基礎知識	3			3
中心静脈カテーテルの抜去	4		5症例以上	4
動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5			5
橈骨動脈ラインの確保	4		5症例以上	4
循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	8			8
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	3	1	5症例以上	4
持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	3	1	5症例以上	4
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	3	1	5症例以上	4
合 計	66	10	50 症例以上	76

【(院外職員対象) 修了者の区分拡大】 ※院内職員は別で募集要項有り

履修内容	研 修 内 容			
	共通科目	演 習	実 習	備 考
特定行為研修修了者が、新たに行為区分全体を追加する場合	免除	実施	実施	※該当区分
行為区分の一部行為のみを追加する場合	免除	実施	実施	※当該行為

(5) 修了認定

「共通科目」を履修し筆記試験に合格後、「区分別科目」又は「領域別パッケージ研修」を履修します。「区分別科目」又は「領域別パッケージ研修」を履修後、筆記試験及び実習評価を行い、静岡市立静岡病院看護師特定行為管理委員会における最終審議を経て修了認定となります。

(6) 時間割・受講場所

研修及び実習は、静岡市立静岡病院内 シミュレーションラボ室、自習室、図書室、その他院内の指定する場所（会議室）で行います。原則、平日に開講します。

学習教材である S-QUE 研究会®全日病 S-QUEe ラーニングは、各受講者の都合に合わせて自宅等での受講が可能です。

実習、科目修了試験等は全て静岡市立静岡病院内で行います。

2 受講手続き

(1) 受講資格

入講（研修開始日）の時点において、次の全てを満たしていること。

- ① 日本国内における看護師免許を有すること。
- ② 看護師免許取得後、通算 5 年以上の実務経験を有すること。
- ③ 勤務している場合、所属長（看護部長又は同等職位の所属長）の推薦を有すること。
- ④ 区分拡大を希望する場合、特定行為実務経験が 2 年以上のこと。

(2) 選考方法

書類選考、小論文試験及び面接試験

(3) 受講申請書類

受講志願者は、次に定める書類を提出して下さい。

①受講願書 (様式1)

②履歴書 (様式2) (6ヶ月以内に撮影した顔写真貼付)

※「認定看護師」「専門看護師」の資格を有している者は、様式2履歴書の【免許等】欄にその旨を記載すること。

③志望理由書 (様式3)

④勤務している場合、所属長(看護部長又は同等職位の所属長)の推薦書 (様式4)

⑤看護師免許の写し (A4サイズに縮小コピー)

⑥受講審査料納入証明書貼付用紙 (受講料 20,000 円の振込明細書のコピーを貼付)

⑦既に SQUE ラーニングの共通科目を修了している場合は様式5 及び研修修了証の写しを提出してください。令和8年度中に修了見込みの場合はご相談ください。

(4) 受講審査料

20,000円 (非課税)

下記の口座に受講審査料を振込してください。振込後「受講審査料納入証明書貼付用紙」にご利用明細票(下記の図を参照してください。)の原本又はコピーを貼付して申請書類と共に提出して下さい。振込依頼人名は受講生本人氏名(カタカナ)とし、氏名の前に必ず「トクテイ)」と付して下さい。 例：トクテイ) スズキ タロウ

※お振込みは、「6. 申し込み期間」内にお願いします。

また、振込手数料は受験者負担でお願いいたします。

振込先情報については、tokutei-kango@shizuokahospital.jp に病院名、所属、氏名、受講希望を記載しメールで問い合わせをお願いいたします。お問い合わせいただいてから3営業日以内を目安にご回答いたします。

※提出された書類・受講審査料は返却致しません。

ご利用明細票		
お取引日	店番	お取引内容
05-11-06	0000	カード送金
記号	番号	
*****	*****	
取扱番号	お取引金額	
N001	*20,000	
	残高	

清水銀行 静岡支店 口座番号 普通 2580052 受取人名 (トクテイ) シズオカシリスズオカビューン 様 依頼人名 (トクテイ) 受験者氏名 電話番号 連絡可能な番号を記載してください CD手数料		

※ATMで振込送金した場合の利用明細票の例

※利用明細票の原本又はコピーを受講審査料納入証明書の枠内に貼付して下さい。

※残高は表示しないようお願いします。
表示されてしまった場合は、枠内を
「黒色で」塗りつぶしてください。

※受験者氏名の前に必ず「トクテイ）」
を入力してください。

(5) 提出方法

任意の封筒(角型2号)に入れ「簡易書留にて郵送」又は「持参」にてご提出下さい。
封筒宛名面に、「**看護師特定行為研修受講申請書類 在中**」と**朱書き**して下さい。

－郵送の場合－ (必ず「**簡易書留扱い**」で郵送してください。)

〒420-8630

静岡市葵区追手町10番93号 静岡市立静岡病院

西館11階 教育研修管理センター 特定行為研修担当 あて

－持参の場合－ **平日 9時00分～12時00分、13時00分～16時00分**

西館11階 教育研修管理センターへ直接持参してください。

(6) 出願期間

令和8年9月1日(火) から令和9年9月25日(金) 17時まで(必着)

(7) 試験日

日 時 **令和8年11月17日(火)**

筆記試験(小論文試験)、面接試験

詳細は後日通知します。

(8) 選考結果

選考結果は、令和 8 年 12 月に本人のメールアドレスへご連絡いたします。電話や FAX、メールでの可否の問い合わせには応じませんのでご了承ください。

(9) 受講費用

費 目		費 用
受講審査料(非課税)		20,000 円
受講納付金(税込)		30,000 円
区分別科目 受講料 (税込)	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	25,000 円
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	70,000 円
	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	20,000 円
	栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	33,000 円
	創傷管理関連	73,000 円
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	35,000 円
	動脈血液ガス分析関連	35,000 円
	感染に係る薬剤投与関連	60,000 円
	術後疼痛管理関連	23,000 円
	循環動態に係る薬剤投与関連	72,000 円
	周術期麻酔管理領域	157,000 円
	集中治療領域	174,000 円

※受講納付金の手続き方法については、合格者に対し別途連絡します。

※その他、共通科目テキストを購入の場合はテキスト代が別途 11,000 円（税込）

掛かります。（価格改定の可能性がございます）購入は各自でお願いします。

また、区分別・領域別パッケージ研修のテキストは販売されていません。

※演習及び実習費は受講料に含まれます。

※既に特定行為研修の修了が認められた者が新たに異なる区分別科目を受講する場合に於いて、新たに受講しようとする区分別科目のうち一部の行為を修了している場合は次のとおりとする。

計算式 $\{1 - (\text{修了した行為数} / \text{受講する科目の行為数})\} \times \text{受講する科目の受講料}$

(例) 集中治療領域を修了した者が、新たに「循環動態に係る薬剤投与関連」を受講する場合。

循環動態に係る 薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	受講済
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	受講済
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	受講済
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	未受講
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	未受講

$$\{1 - (3 / 5)\} \times 72,000 \text{ 円} = \{1 - (0.6)\} \times 72,000 \text{ 円} = 0.4 \times 72,000 \text{ 円} \\ = 28,800 \text{ 円} \quad \text{となる。}$$

【新規受講者用】

(様式1)

※受験番号

受講願 書

(静岡市立静岡病院看護師特定行為研修)

令和 年 月 日

(宛先)地方独立行政法人静岡市立静岡病院
理事長 あて

(申込者)

住所

氏名(自署) 印

私は、下記の静岡市立静岡病院特定行為研修の受講を希望しており、関係書類を添えて
出願いたします。

記

受講 希望	特定行為の区分又は領域		特定行為名
	区	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	区	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱
	区	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・ 中心静脈カテーテルの抜去
	区	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	・ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
	区	創傷管理関連	・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法
	区	動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保
	区	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ※新規区分受講者必須	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正
	区	感染に係る薬剤投与関連	・ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与

	区	術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	区	循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
	パ	周術期麻酔管理領域	・経鼻用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱 ・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保 ・脱水症状に対する輸液の補正 ・硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
	パ	集中治療領域	・経鼻用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静剤の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱 ・一時的ペースメーカーの操作及び管理 ・中心静脈カテーテルの抜去 ・橈骨動脈ラインの確保 ・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の確保投与量の調整

* 「区」…区分別科目、「パ」…領域別パッケージ研修

* 区分の併願は可能ですが、領域別パッケージ研修を選択した場合、他の単独区分との併願はできません。
(良い例) 栄養＋創傷、栄養＋感染

(様式1)

※受験番号

受講願書

(静岡市立静岡病院看護師特定行為研修)

令和 年 月 日

(宛先) 地方独立行政法人静岡市立静岡病院
理事長 あて

(申込者)

住所

氏名(自署) 印

私は、下記の静岡市立静岡病院特定行為研修の受講を希望しており、関係書類を添えて
出願いたします。

記

①希望する項目にチェックを入れてください。

☐ 特定行為研修修了者が、新たに行為区分全体を追加する場合

☐ 行為区分の一部行為のみを追加する場合

②希望する区分の受講希望欄にチェックを入れてください。一部行為のみ追加する場合は希望する行為も併せてチェックを入れてください。

受講希望	特定行為の区分又は領域		特定行為名
	区	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	☐ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	区	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	☐ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ☐ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ☐ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ☐ 人工呼吸器からの離脱
	区	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	☐ 中心静脈カテーテルの抜去
	区	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	☐ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
	区	創傷管理関連	☐ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ☐ 創傷に対する陰圧閉鎖療法
	区	動脈血液ガス分析関連	☐ 直接動脈穿刺法による採血 ☐ 橈骨動脈ラインの確保

	区	栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連	☐ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ☐ 脱水症状に対する輸液による補正
	区	感染に係る薬剤投与関連	☐ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
	区	術後疼痛管理関連	☐ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	区	循環動態に係る薬剤投与 関連	☐ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ☐ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ☐ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ☐ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ☐ 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
	パ	周術期麻酔管理領域	☐ 経鼻用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 ☐ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ☐ 人工呼吸器からの離脱 ☐ 直接動脈穿刺法による採血 ☐ 橈骨動脈ラインの確保 ☐ 脱水症状に対する輸液の補正 ☐ 硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 ☐ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
	パ	集中治療領域	☐ 経鼻用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 ☐ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ☐ 人工呼吸管理がなされている者に対する 鎮静剤の投与量の調整 ☐ 人工呼吸器からの離脱 ☐ 一時的ペースメーカーの操作及び管理 ☐ 中心静脈カテーテルの抜去 ☐ 橈骨動脈ラインの確保 ☐ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ☐ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又は クロールの投与量の調整 ☐ 持続点滴中の降圧剤の確保投与量の調整

* 「区」…区分別科目、「パ」…領域別パッケージ研修

* 区分の併願は可能ですが、領域別パッケージ研修を選択した場合、他の単独区分との併願はできません。

(様式2)

※受験番号

履歷書

記入日:令和 年 月 日

[illegible]

職 歴	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	昭和・平成・令和 年 月～ 年 月	
	※施設名、診療科を記載してください。	
資格・学位		
研修受講歴		
学会及び社会における 活動(所属学会等)		

※記載欄が不足する場合は「別紙のとおり」と記載し、別紙に記載の上添付してください。

なお、受講申請書類等により取得した個人情報 は 特定行為に関する業務に利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

(様式3)

※受験番号

志望理由書

令和 年 月 日

氏 名

○受講を志望する特定行為区分又は領域名

研修の志望理由および研修修了後の抱負について記入して下さい。

[illegible]

(様式4)

※受験番号	
-------	--

推 薦 書

令和 年 月 日

(宛先)地方独立行政法人
静岡市立静岡病院 理事長 あて

施設名

職位

推薦者(自署) _____ 印

静岡市立静岡病院の看護師特定行為研修の受講者として、下記の者を推薦します。

記

○被推薦者氏名: _____

【推薦理由】 * 現在の職務内容および受講修了後の期待される役割などを記載して下さい。

(様式5)

※受験番号	
-------	--

既修得科目履修免除申請書

令和 年 月 日

(宛先)地方独立行政法人
静岡市立静岡病院 理事長 あて

申請者氏名 _____ 印

私は、以下のとおり研修修了認定指定機関の看護師特定行為研修において、既に受講を修了しているため、必要書類を添えて既修得科目の履修免除を申請いたします。

記

研修修了認定 指定機関	修了した区分/科目	全部又は一部の別	修了認定日(西暦)
			年 月 日
			年 月 日
			年 月 日

※必要書類：科目別履修証明書 又は 特定行為区分修了証明書
組織定着化支援事業に於いて、共通科目の一部を受講した場合は、詳細が記載された証明書を添付すること。

受講審査料 納入証明書 貼付用紙

* 受講審査料の振込証明書のコピーをこの
枠内に貼付してください。

至梅ヶ島方面 ↑

←至旧東海道 本通り

静岡中央警察署 ●

静岡市役所 ●

葵区役所 ●

● 県庁

静岡市立静岡病院 (P)

駿府城公園

北街道

● 新静岡セノバ

○ 新静岡

静岡鉄道

● 松坂屋

←至藤枝 国道 1 号線

至清水 →

北口

JR 静岡駅

■ 静岡駅北口からタクシーで5分、徒歩10分 ■ お車の場合は駐車場等 HPをご参考ください

静岡市立静岡病院
教育研修管理センター 特定行為研修担当
電 話 : 054-253-3125 (内線3286)
メー ル : tokutei-kango@shizuokahospital.jp